

予算の編成替えを求めます。

景気回復が遅れるなか、予算の成立が急がれます。

私たちは、理念なき“ばらまき政策”によって

肥大化した鳩山内閣の予算案には反対です。

責任ある野党として、「予算の編成替え」を要求していきます。

要求の主なポイント

- 政府案では国債発行額が44.3兆円で、公債依存度が過去最大の48%に。“ばらまき政策”を止め、国債発行額を3兆円規模で減額、予算規模の健全化を求める。
- 子どもたちにツケを負わせることなく、財政再建の道筋をつけることは「政治の責任」。このため、財政健全化の具体的な目標を規定する「財政責任法」(仮称)の制定を求める。
- “子ども手当”を止め、幼児教育の無償化、保育所・保育士の拡充、給食費の無償化などを実施する。「就学援助制度」や「新たな給付型奨学金」の創設、低所得者の授業料無料化、学校耐震化などが必要な政策であり、“高校授業料無償化”の撤回を求める。
- 安心できる社会保障制度の確立のためには安定的な財源が不可欠。消費税を含む税制の抜本改革を、平成23年度までに必要な法制上の措置を行い、経済状況の好転後遅滞なく実施することを求める。
- 自治体・企業・NGOの連携のもと、個人ごとの自助努力を補助する「能動的な雇用対策」のきめ細かな展開を求める。
- 政府の行うコメ戸別所得補償モデル事業は、農業全体の弱体化と地域の混乱を引き起こすものであり、即時撤回を求める。
- 公共事業の18.3%に及ぶ削減は、雇用や地方経済への多大な影響が懸念されるため、内需拡大の基盤づくりや地方の雇用を生み出すよう公共事業を上積みする。また、高速道路無料化の社会実験の中止、ハッ場ダム中止の撤回を求める。

自民党

